

1st Surgical Education Summit

2014/7/26 in Hokkaido

【会場】夕張ホテルシューパーロ

住所：夕張市本町2丁目216, TEL: (0123) 52 - 2400

【主催】日本外科教育研究会

【プログラム】

[12:00 - 12:30] : 受付

[12:30 - 12:40] : 開会の挨拶 + Surgical Education Summit 開催の背景

— 国立がん研究センター東病院大腸外科：伊藤雅昭

[12:40 - 13:00] : Introduction Lecture 「外科教育を始めよう」

— 北海道大学消化器外科II：倉島庸

* ここまで昼食時間も兼ねる

[13:00 - 18:30] : ワークショップ

【ワークショップ】

1. [13:00 - 14:00] 今の日本の外科教育に何が必要か？

〈目的〉

- ・各研修病院の外科研修の現状、問題点を指摘する
- ・日本全体の外科教育の現状、問題点について議論する

〈議論内容〉

研修病院における外科研修の現場での問題点、外科教育の環境・システムの問題点を踏まえて、各施設、または学会レベルで今後どのような取り組みが可能なのか議論する

〈スケジュール〉

13:00 - 13:15 Lecture 「外科研修の現状を調査したサーベイ」 - 講師/司会：倉島庸

13:15 - 13:45 グループ討論

13:45 - 14:00 各グループからの発表、まとめ

2. [14:05 - 15:05] 外科手術手技トレーニングの実際

〈目的〉

- ・実際の手術指導方法について具体例を通して学ぶ

〈議論内容〉

いつ、どのように教えればよいのか？ フィードバックのタイミングと方法は？

具体的なトレーニング方法を提示し議論する。

〈スケジュール〉

14:05 - 14:15 Mini Lecture 「Adult Learning」 - 講師/司会：渡邊祐介 (McGill 大学)

14:15 - 14:40 Lecture 「大腸内視鏡外科教育の具体例提示」 - 講師：伊藤雅昭

14:40 - 14:55 グループ討論 (実際の外科教育現場の問題点と解決策、推奨したい手法)

14:55 - 15:05 各グループ、個人からの意見とまとめ

3. [15:10 - 16:10] 外科教育カリキュラムの創り方

〈目的〉

- ・カリキュラムの構成要素である目標、目的、方略、評価の役割について説明できる
- ・外科研修目標を達成するためのカリキュラム立案の基本を理解する

〈議論内容〉

外科研修において何を目標にして、どのようなツールを使って、何をどこまで教えればよいのか、そのカリキュラムの立案から実行までの手法を体系的に学ぶ。

〈スケジュール〉

15:10 - 15:25 Lecture 「外科医を育てるためのカリキュラム創り」 - 講師/司会：倉島庸

15:25 - 15:50 グループ討論 (実際に簡単なカリキュラムを考案する)

15:50 - 16:10 各グループからの発表、まとめ

{16:10-16:30 休憩}

4. [16:30 - 17:30] 外科医の評価方法

〈目的〉

- ・教育における評価の意義について理解する
- ・外科医の評価方法の手法や種類について理解する

〈議論内容〉

外科研修医・修練医の手術技能評価、トレーニング効果の評価はどのようにすればよいのか？ 既存の評価システムを参考に議論する

〈スケジュール〉

16:30 - 16:50 Lecture 「外科医の評価方法」 - 講師/司会：渡邊祐介

16:50 - 17:15 グループ討論（題目提示→評価プランニング演習）

17:15 - 17:30 各グループからの発表、まとめ

5. [17:35 - 18:30] 外科教育とサイエンス

〈目的〉

- ・外科教育とその研修の関わりを理解する
- ・シミュレーショントレーニングや外科教育の研究テーマ決定、研究デザイン方法を学ぶ
- ・参考にすべきオンラインテキスト、HP、学会などの情報を得る

〈スケジュール〉

17:35 - 18:15 Lecture 「外科教育とサイエンス」 - 講師/司会：倉島庸

18:15 - 18:30 質疑応答

[18:30 - 18:50] 今後の外科教育研究会のあり方についての意見交換

[18:50 - 18:55] 閉会の挨拶

[19:00 - 21:00] 夕食懇親会